

NEWS RELEASE

報道関係者各位

2018年2月27日

ジャパン少額短期保険株式会社

地方出身者のほとんどの人が経験?! 上京したての新生活苦労体験を発表!
地方の満員電車と東京の満員電車はレベルが違う!
新生活がスタートして一番大変だったこと1位は「満員電車通勤(36.0%)」、
トラブル現場を目撃したことがある人は83.9%という結果に

自分の身は自分で守る保険“痴漢冤罪ヘルプコール付 弁護士費用保険”に加入したい人は6割以上
URL: <https://www.japan-insurance.co.jp/lawyer/>

—ジャパン少額短期保険の『“地方出身者”の新生活に関する意識調査』—

痴漢冤罪を未然に防ぐことを目指すジャパン少額短期保険株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役:杉本尚士)は、この5年間で上京してきた20歳~39歳の男女500名を対象に、インターネットによる『“地方出身者”の新生活に関する意識調査』を2018年2月に実施し、その結果を発表致します。

【調査結果サマリー】

①新生活がスタートして一番大変だったこと1位は「満員電車通勤(36.0%)」、2位は「お金のやりくり(19.3%)」、3位は「電車の乗り換え(15.6%)」という結果に。

春から新生活がスタート。地方からの上京組は慣れない都会暮らしで何かと最初は苦労した人も多いはず。そんな地方出身者に新生活で大変だったことを聞くと、1位は「満員電車通勤(36.0%)」、2位は「お金のやりくり(19.3%)」、3位は「電車の乗り換え(15.6%)」という結果に。その他にも、「職場での人間関係」や「家事と仕事の両立」が大変だったといった回答も。また、大変だったエピソードを聞くと、「田舎の満員電車と東京の満員電車の規模がまったく違い、降りたい駅で降りれなかったり、乗りたいのに乗員過剰で乗れなかったり、前からも後ろからも押されて両足が浮いた状態で電車が走っていた時は痛さと驚きで一杯だった。」や「地方から東京に転勤だったので、物価や家賃が上がり、やりくり慣れるまで大変だった。」といった経験をした人もいたようだ。地方からの上京組はこういった経験をした人も多いのではないだろうか。

②約70%が電車通勤。通勤ラッシュ時の電車遅延は当たり前?! 10人中9.7人が電車遅延を経験。トラブル現場を目撃したことがある人は83.9%という結果に。

この5年間で上京してきた20歳~39歳の男女500名に通勤に関する調査を実施。通勤方法に関しては「電車」が68.4%、「自動車」が10.7%、「自転車」が7.4%という結果に。電車通勤の人のほぼ全員(97.1%)が何かしらのトラブルによる電車遅延を経験。通勤時間の遅延にイライラを募らせている人はきっと多いだろう。しかし、いつ自分の身に通勤中のトラブルが降りかかってくるかわからない。巻き込まれないように細心の注意を払って行動したいものだ。

③社会人になってなにかしらの保険に入っている人は全体の78.5%! 「いつなにがおこるかわからない」という漠然とした不安をかかえる社会人多数?! 疑われたら最後! 99%の男性が有罪になる痴漢冤罪!

保険料の支払いをしている人は、20代前半にもかかわらず38.0%と約4割の人が何かしらの保険に加入している。若くして保険に加入している理由としては、「年金がもらえるかわからないので」や「いつ事故に巻き込まれるかわからないから」と、将来に対しての不安から加入する人や、「親から勧められて」や「友人の紹介で」等、周囲の人の勧めで加入した人も。2017年には電車で痴漢と疑われた男性が線路に逃走し亡くなるという事故が発生したが、「痴漢の冤罪で大変な経験をしている人の話を聞いた。」という理由から加入した人もいるようだ。自分がそういった事をするなんて絶対にあり得ないと思っても、いつ何が起こるかわからない。まさか自分が、と思った時にはもう遅い。備えあれば憂いなし。今のうちからできることは対応しておいた方が後々やっておいてよかったと思う日がくるかもしれない。

④男女別、通勤電車で異性に気を付けてほしいことランキング！

男性が女性に気を付けてほしいこと1位は「痴漢冤罪」、2位は「匂い」、3位は「車内での化粧」

女性が男性に気を付けてほしいこと1位は「臭い」、2位は「距離感」、3位は「足を広げて座る」という結果に

誰しもトラブルには巻き込まれたいはず。そのトラブルを回避するためにも、通勤電車内で異性に気を付けてほしいことや困った行動を聞いてみた。男性が女性に気を付けてほしいことで最も多かった回答は「痴漢冤罪」に関する内容が多く、「痴漢と勘違いされると困るので近づかないでほしい」や「女性専用車両に乗ってほしい」といった回答が多く寄せられた。2番目に多かった回答は「匂い」で「香水の匂いがきつすぎる」、次いで多かった回答は「車内での化粧」という結果に。一方で女性が男性に気を付けてほしいことで最も多かった回答は「臭い」。こちらは先ほどの「匂い」とは違い、体臭や口臭、たばこ臭といった「臭い」が多くあげられた。次に多かった回答は「距離感」。こちらは臭い等が気になるということもあるようだが一番は接近による痴漢を懸念するものが多く寄せられた。3番目に多かった回答は「足を広げて座る」という結果に。男女それぞれの3番目に多い回答は性別が影響しているところがあるが、1番目、2番目はお互いにトラブルを避けたい気持ちが出ているようだ。

⑤満員電車通勤中にいきなり女性から「この人痴漢です！」と手を掴まれ、痴漢を疑われたら最後？！

圧倒的に男性が不利な電車での痴漢冤罪、怖いと感じた人男性は92.0%

痴漢冤罪ヘルプコール付き弁護士費用保険、加入しておけばトラブルにまきこまれても弁護士が即対応！加入したい人64.5%！！

昨年、痴漢と疑われた男性が線路に逃げ出し、やってきた電車にひかれて死亡するという事故がテレビなどで報道され、痴漢冤罪というワードが多く取り沙汰されたが、そんな痴漢冤罪を怖いと感じた男性は92.0%。

一度痴漢と疑われると、無罪を実証することが難しく、その人の社会的地位さえも危うくなることも。

そういったトラブルに巻き込まれたときの助けとなるのが、弁護士がすぐに対応してくれる「痴漢冤罪ヘルプコール付き弁護士費用保険」。その保険を知っていると回答した人は52.9%で、知っていると回答した人の半数以上(64.5%)がその保険に加入したいと回答した。加入意向の理由としては、「万一に備えたいから」や「痴漢冤罪をテーマにした著名な映画の視聴をきっかけに、痴漢冤罪を非常に恐れている。」といった男性の明日は我が身かもしれないという不安によるものや、中には「何が起こるかわからないし、お金目当ての女性もいるので、旦那やお父さんに入ってもらいたい。」といった、女性が男性に入ってほしいと思っている回答もあげられた。月額590円という安さで加入することができるので、トラブルに遭遇する前に是非とも入っておきたい保険だ。

※本リリースに含まれる調査結果をご掲載頂く際は、必ず「ジャパン少額短期保険調べ」と明記ください。

※本リリースに記載していない調査結果もございます。詳細は下記までお問合せください。

【調査概要】新生活に関する意識調査

- ・調査方法 : インターネットアンケート
- ・調査実施機関 : 株式会社ジャストシステム
- ・調査実施期間 : 2018年2月14日(水)~2018年2月18日(日)
- ・対象地域 : 1都3県(埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県)
- ・対象者 : 20歳~39歳のこの5年間で上京してきた男女500名 各世代、性別で125名ずつ

【参考情報】

普通の保険と少額短期保険の違いとは？

少額短期保険とは、一定の事業規模の範囲で、その名の通り取り扱う保険金額が「少額」、そして保険期間が「短期」(通常1年ですが損保分野は2年以内)保険契約の引き受けだけを行うものです。

通称「ミニ保険会社」。

少額短期保険の大きな特徴としては、保険金額に制限があることです。生命保険会社のように、数千万円とか数億円などの高額な契約が出来ないようにになっています。また、一般の保険と比べると少額短期保険は保障される範囲・金額は制限されます。

月額590円で身を守る！

痴漢冤罪ヘルプコール付 弁護士費用保険

痴漢と間違われたとき、すぐに弁護士にヘルプコールができる保険。月額590円で加入可能。
弁護士が状況に応じたアドバイスを行う。

事件発生後48時間に発生した弁護士の相談料、接見費用(交通費などを含まず)は、
全額負担します。(被疑者段階の弁護活動にかかる着手金は除きます。)

URL: <https://www.japan-insurance.co.jp/lawyer/>

<実際の流れ>



【会社概要】

会社名 : ジャパン少額短期保険株式会社

代表者 : 代表取締役社長 杉本 尚士

登録日 : 2007年(H19)10月25日

資本金 : 700,000,000円

事業内容 : 少額短期保険業

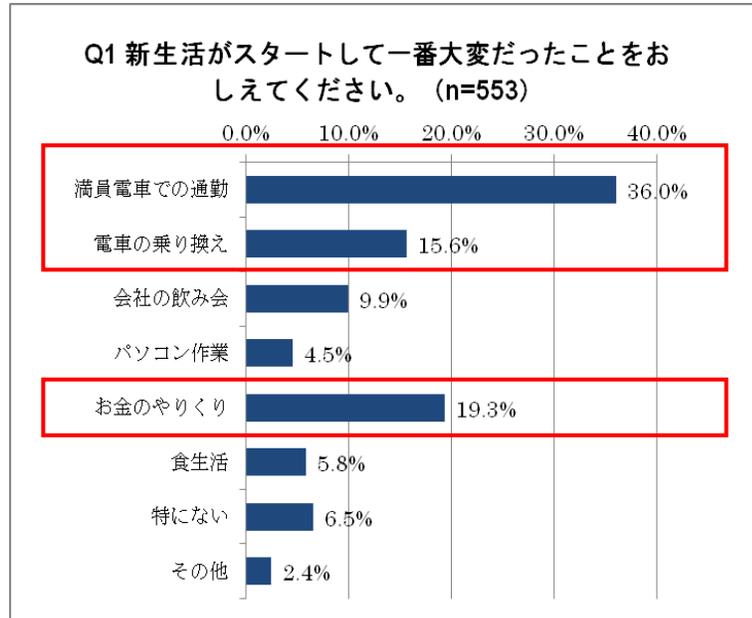
所在地 : 東京都千代田区大手町二丁目1番1号

ジャパン少額短期保険株式会社は、生活に密着した幅広い保険商品を提供することを目的に、平成19年11月1日より営業を開始いたしました。当社は、少額短期保険業の特徴を活かし、賃貸住宅入居者向け家財保険・賠償責任保険(商品名:新すまいRoom保険)、賃貸オフィス・飲食店入居者向けの保険(商品名:テナント総合保険)、自転車事故による自分のケガや他人への賠償責任に備える保険(商品名:ちやりぽ)、自転車盗難保険、旅行業者向けの保険(商品名:お天気保険)、痴漢冤罪ヘルプコール付弁護士費用保険などを販売しています。

【調査結果グラフ】

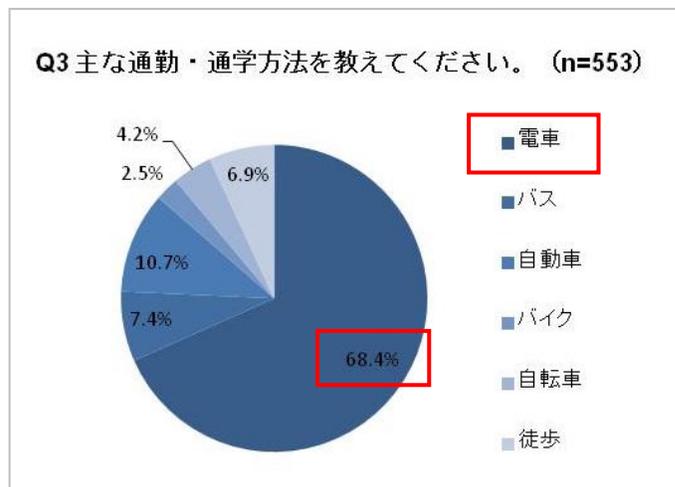
①新生活がスタートして一番大変だったこと1位は「満員電車通勤(36.0%)」、2位は「お金のやりくり(19.3%)」、3位は「電車の乗り換え(15.6%)」という結果に。

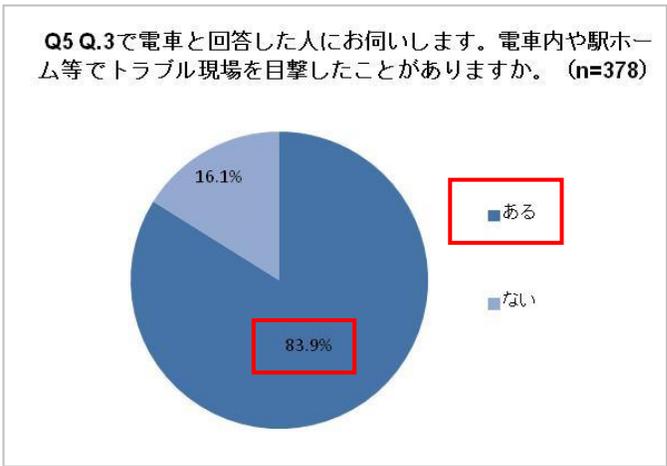
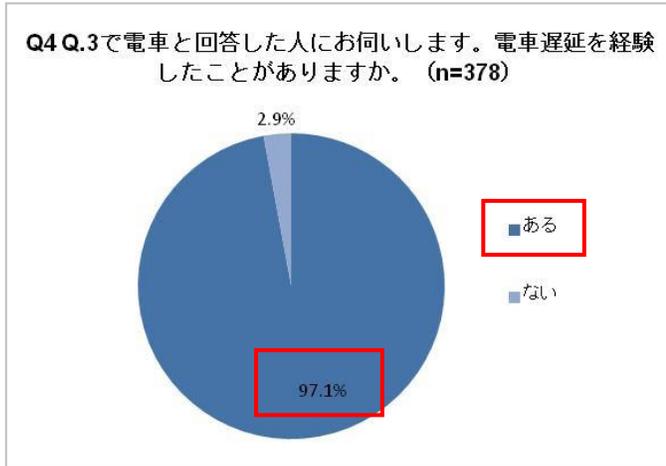
春から新生活がスタート。地方からの上京組は慣れない都会暮らしで何かと最初は苦勞した人も多いはず。そんな地方出身者に新生活で大変だったことを聞くと、1位は「満員電車通勤(36.0%)」、2位は「お金のやりくり(19.3%)」、3位は「電車の乗り換え(15.6%)」という結果に。その他にも、「職場での人間関係」や「家事と仕事の両立」が大変だったといった回答も。また、大変だったエピソードを聞くと、「田舎の満員電車と東京の満員電車の規模がまったく違い、降りたい駅で降りれなかったり、乗りたいのに乗員過剰で乗れなかったり、前からも後ろからも押されて両足が浮いた状態で電車が走っていた時は痛さと驚きで一杯だった。」や「地方から東京に転勤だったので、物価や家賃が上がり、やりくりに慣れるまで大変だった。」といった経験をした人もいたようだ。地方からの上京組はこういった経験をした人も多いのではないだろうか。



②約70%が電車通勤。通勤ラッシュ時の電車遅延は当たり前?! 10人中9.7人が電車遅延を経験。トラブル現場を目撃したことがある人は83.9%という結果に。

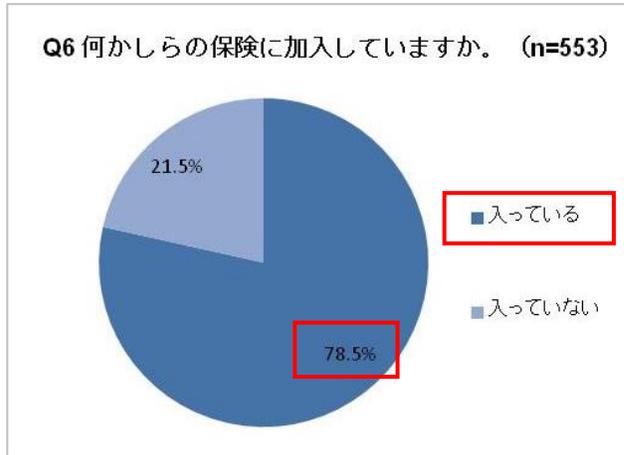
この5年間で上京してきた20歳～39歳の男女500名に通勤に関する調査を実施。通勤方法に関しては「電車」が68.4%、「自動車」が10.7%、「自転車」が7.4%という結果に。電車通勤の人のほぼ全員(97.1%)が何かしらのトラブルによる電車遅延を経験。通勤時間の遅延にイライラを募らせている人はきっと多いだろう。しかし、いつ自分の身に通勤中のトラブルが降りかかってくるかわからない。巻き込まれないように細心の注意を払って行動したいものだ。





③社会人になってなにかしらの保険に入っている人は全体の 78.5%！「いつなにがおこるかわからない」という漠然とした不安をかかえる社会人多数？！疑われたら最後！99%の男性が有罪になる痴漢冤罪！

保険料の支払いをしている人は、20代前半にもかかわらず38.0%と約4割の人が何かしらの保険に加入している。若くして保険に加入している理由としては、「年金がもらえるかわからないので」や「いつ事故に巻き込まれるかわからないから」と、将来に対する不安から加入する人や、「親から勧められて」や「友人の紹介で」等、周囲の人の勧めで加入した人も。2017年には電車で痴漢と疑われた男性が線路に逃走し亡くなるという事故が発生したが、「痴漢の冤罪で大変な経験をしている人の話を聞いた。」という理由から加入した人もいるようだ。自分がそういった事をするなんて絶対にあり得ないと思っても、いつ何が起るかわからない。まさか自分が、と思った時にはもう遅い。備えあれば憂いなし。今のうちからできることは対応しておいた方が後々やっておいてよかったと思う日がくるかもしれない。



⑤満員電車通勤中にいきなり女性から「この人痴漢です！」と手を掴まれ、痴漢を疑われたら最後？！圧倒的に男性が不利な電車での痴漢冤罪、怖いと感じた人男性は92.0% 痴漢冤罪ヘルプコール付き弁護士費用保険、加入しておけばトラブルにまきこまれても弁護士が即対応！ 加入したい人64.5%！！

昨年、痴漢と疑われた男性が線路に逃げ出し、やってきた電車にひかれて死亡するという事故がテレビなどで報道され、痴漢冤罪というワードが多く取り沙汰されたが、そんな痴漢冤罪を怖いと感じた男性は92.0%。一度痴漢と疑われると、無罪を実証することが難しく、その人の社会的地位さえも危うくなることも。

そういったトラブルに巻き込まれたときの助けとなるのが、弁護士がすぐに対応してくれる「痴漢冤罪ヘルプコール付き弁護士費用保険」。その保険を知っていると回答した人は52.9%で、知っていると回答した人の半数以上(64.5%)がその保険に加入したいと回答した。加入意向の理由としては、「万一に備えたいから」や「痴漢冤罪をテーマにした著名な映画の視聴をきっかけに、痴漢冤罪を非常に恐れている。」といった男性の明日は我が身かもしれないという不安によるものや、中には「何が起こるかわからないし、お金目当ての女性もいるので、旦那やお父さんに入ってもらいたい。」といった、女性が男性に入ってほしいと思っている回答もあげられた。月額590円という安さで加入することができるので、トラブルに遭遇する前に是非とも入っておきたい保険だ。

